



近藤 大介 議員

職場環境に問題はないか

町長 プライベートに及ぶこともある

〔近藤〕ここ数年の間で町職員の死亡が相次いでいる。自殺された職員もあるほか、メンタル面での不調で休職する職員も少なくない。職場環境に問題はないか。

〔町長〕デリケートで、プライベートなことに及ぶ心配がある。本会議でなく、議会懇談会での対応をお願いしたい。

〔近藤〕合併して12年、職員数ばかりが削減され、一方で、新たな行政ニーズもあり職員の業務量は増えてきている。

〔町長〕職員同士の関係が希薄になっているとの認識はある。合併後、それぞれの行政業務を共通の形にしていこうと大きなエネルギーが要ったということも事実であるが、組織の再編など、いろいろな取り組みもしてきている。

〔町長〕職員同士の関係が希薄になっているとの認識はある。合併後、それぞれの行政業務を共通の形にしていこうと大きなエネルギーが要ったということも事実であるが、組織の再編など、いろいろな取り組みもしてきている。



職員の健康は守られているか…

行財政改革の成果は

町長 着実に進んでいる

進めてきた。これまで町が行った事業は、町民が必要とする事業であり、計画的に進めている事業も多い。これまでも行政評価を実施し、事務事業の見直しを進め、補助金の廃止や減額も行っている。

監査委員の指摘は、まだまだ改善の余地があると真摯に受けとめ、改善を進めたい。



見直しされた敬老事業

〔近藤〕平成27年度の施政方針で徹底した行財政改革を行うとしていたが、その成果は。また、決算審査で監査委員から、費用対効果が乏しい事業は安易に継続せず、思い切って廃止することも必要との指摘があるが、どう受けとめるか。

〔町長〕行財政改革では、町税滞納者に対して納付勧奨に努め、不誠実な滞納者には差し押さえをし、滞納額を縮減した。

そのほか、未利用町有地の民間への貸し付け、イベント事業の見直しや地方債残高の抑制など、着実に改革を

財産調書の大幅修正の理由は

町長 増加した土地を調査する



野口 昌作 議員

〔野口〕公有財産調書で平成27年度に山林73ヘクタール、畑・雑種地で22.5ヘクタールなど、土地全体で131.8ヘクタール、学校など建物1万5000㎡が増加修正してある。このような大幅な修正がされたのはなぜか。

〔町長〕旧時代の台帳整備が不十分であったからである。今後はこの調書を適正管理していく。

〔野口〕本庁舎土地が615㎡減になっている。これも旧台帳による間違いか。それとも測量に問題があったのか。

〔町長〕庁舎の西に道路をつけたことによるもの。

〔野口〕集落の墓地、財産区や部落有の山林などは入っていないか。

〔町長〕財産区の土地は入っていない。部落有の山林などについては、確認して報告したい。

刈り草の管理を定めよ

町長 今後は仕様書に定める



管理は適正に

〔野口〕町道など町が管理する道路の草刈り作業で、刈り草が側溝に覆いかぶさった状態である。やがて腐敗して側溝機能を低下させる。作業の仕様書はどのように定めているか。

〔町長〕交通安全や作業の安全対策に留意する旨などは、仕様書に定めている。刈り草は、側溝から除去するように口頭指導している。

〔野口〕側溝にかぶさった刈り草は除去するよう、仕様書に記載しておくべきと思うが。

〔町長〕今後はそのように検討する。

自立支援の相談日を設けては

町長 今ある相談日の利用を



障がい者が安心して暮らせる町を

〔野口〕障がいがある人の自立支援などの相談日を設けて、安心して暮らせる町をめざすべきでないか。

〔町長〕町内では指定特定相談支援事業所2カ所と、心配事相談・行政相談、弁護士相談などを行っており、これらを利用してもらいたい。

〔野口〕もっと身近に感じられるPRなど行っては。

〔町長〕相談を希望する人もあるが、公にしたくないと考える人もいる。今ある相談日を利用してもらいたい。